

## <材料化学システム工学討論会 2021> 報告書

幹事

石飛宏和(群馬大学)(文責)

引間悠太(京都大学)

山内紀子(茨城大学)

2021年9月10日に GOING VIRTUAL および Zoom で材料化学システム工学討論会 2021 が開催された。詳細は下記の通りである。

講演者・ 講演題目	9:40～11:20 【依頼講演】「生体模倣による高性能 CO <sub>2</sub> 分離材料の開発」 九州大学 (正) 星野友 氏  12:30～14:10 【依頼講演】「プロセスチェーンを俯瞰した微粒子界面設計に基づく機能材料設計」 横浜国立大学 (正) 飯島志行 氏  14:25～16:05 【反好会との交流企画・依頼講演】 「プロセス強化戦略に基づく連続式反応器の開発」 大阪府立大学 (正) 堀江孝史 氏
会場	GOING VIRTUAL および Zoom
聴講者数	55 名 (産 4 名, 学 51 名)

(次のページに続く)

## 【集合写真】



## 【備考】

2021年度もコロナ禍のために2020年度に続いてオンライン開催となったが、一方で参加者は過去最高の55名となり盛大な会になった。本討論会の特徴である活発な討議は、対面開催の際と変わらず終始行われた。今年度は当討論会と反好会(反応工学部会若手会)の交流企画も初めて行い、大阪府立大学の堀江孝史氏にご講演をお願いし、当討論会実行委員(元幹事)である広島大学の久保優氏に第21回反好会講演会の招待講演をお願いした。2021年度の試みとして、参加者間の交流の機会を提供するために若手意見交換会の実施や交流用名簿の配布を行った。

2022年度の主幹事は京都大学の引間悠太氏、副幹事は東京大学の伊與木健太氏である。  
以上